

2020年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年4月14日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL <http://www.cl-kyokuto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 直
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 弓削 道哉 (TEL) 092-503-0050
 定時株主総会開催予定日 2020年5月25日 配当支払開始予定日 2020年5月11日
 有価証券報告書提出予定日 2020年5月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期の業績 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期	6,618	△0.9	81	△63.4	171	△48.3	49	△58.7
2019年2月期	6,679	0.6	221	10.8	332	14.6	120	△11.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年2月期	9.46	—	1.4	3.5	1.2
2019年2月期	22.93	—	3.3	6.7	3.3

(参考) 持分法投資損益 2020年2月期 一百万円 2019年2月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期	4,913	3,583	72.9	681.08
2019年2月期	4,960	3,631	73.2	690.16

(参考) 自己資本 2020年2月期 3,583百万円 2019年2月期 3,631百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年2月期	78	△306	△30	706
2019年2月期	363	△45	△178	963

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00	57	48.0	1.6
2020年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00	57	116.2	1.6
2021年2月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00		46.3	

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,924	2.7	375	6.8	423	5.7	264	14.2	50.17
通期	6,800	2.7	110	35.7	200	16.3	125	150.9	23.75

(注) 新型コロナウイルス感染症による当社の業績に与える影響につきましては、現時点において合理的に算出することが困難なため業績予想に織り込んでおりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期	5,551,230 株	2019年2月期	5,551,230 株
② 期末自己株式数	2020年2月期	289,999 株	2019年2月期	289,969 株
③ 期中平均株式数	2020年2月期	5,261,239 株	2019年2月期	5,261,286 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあてはまる注意事項等については、添付資料4ページ「経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(表示方法の変更)	15
(企業結合等関係)	16
(セグメント情報等)	18
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 役員の異動	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、先行きの不透明な世界経済や国内人件費の上昇などを背景に、中小企業は景況感に依然慎重な見方をとり、一般消費者のマインドが消費増税により節約志向に回帰してきたところに、2020年2月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響が個人消費に打撃を与えるのが必至の状況です。

当クリーニング業界におきましても、クールビズの浸透や働き方改革でのテレワークの推奨で広がる衣料のカジュアル化などによる需要の減少や人手不足への対応など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、期初より社長交代を行い、会長と社長の2名の代表取締役を置く経営体制で、お客様の利便性と満足度の向上に取り組みました。

営業面においては、2019年3月1日より新商材として「スニーカークリーニング」をスタートし、全国の主要工場に専用の水洗機・乾燥機を配備しました。2019年5月16日には、事業の一部譲受けにより東京23区内に19店舗、埼玉県新座市に1店舗を取得し、これら取得店舗からの持ち込みに対応するため、2019年7月1日に当社板橋プラントの2階に生産拠点として「板橋アネックス」工場を設営しました。2019年10月1日にはM&A第2弾として、同地区に更に4店舗を取得し、関東の営業基盤を強化しました。また、店舗の定休日や営業時間外に仕上り品のお引き取りが可能な「無人お渡しシステム」は設置台数が当事業年度末で35店舗（前事業年度末に比べて13店舗の増加）となり、11月には、店頭「お預り」と「お引き取り」の両方に対応できる「無人受付システム」の試験導入を始めました。更に、キャッシュレス決済ができる店舗は500店を超えました。また、年明けから1月末にかけては、全店一斉に福袋セールを実施し、お客様にご好評をいただきました。

その一方で、事業の効率化のため、2019年6月1日に広島県の尾道プラントにおける生産と同プラントが管轄する店舗を福山プラントに統合し、2019年9月1日に大阪市の大正工場の生産と同工場が管轄する店舗を住之江工場に統合しました。

店舗政策では、新規店として先に述べた事業の一部譲受けを含め35店舗をオープンし、8年ぶりに一新した看板デザインを入れて47店舗をリニューアルしました。その一方で、不採算店や取次店オーナーの高齢化などにより72店舗を閉鎖し、スクラップ&ビルドを進めた結果、当事業年度末の店舗数は601店舗（前事業年度末に比べて37店舗の減少）となりました。

以上の結果、当事業年度の業績は、諸々の施策に取り組みましたが、暖冬の影響で重衣料の入荷が少なかったこと、春場の最需要期に超大型連休へ家計支出が流れたこと、また、夏場から天候不順や記録的な台風続きで店頭持ち込み機会を失ったこと、消費増税による家庭の支出抑制、新型コロナウイルス感染回避のための外出自粛などの影響も加わり、売上高は6,618,536千円と前事業年度と比べ61,364千円(0.9%)の減収となりました。

利益につきましては、売上高の減少と前述の投資費用と不採算店の閉鎖や工場・プラントの統合に伴う一時費用や人件費が増加したことなどにより、営業利益は81,031千円と前事業年度と比べ140,393千円(63.4%)の減益、経常利益は171,997千円と前事業年度と比べ160,406千円(48.3%)の減益となりました。

当期純利益は、特別損失として、当社の保有する固定資産のうち収益性の低下が見られた工場について減損損失26,581千円を計上し、加えて、当社の保有する投資有価証券の一部について取得価額に比べて時価が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損19,790千円を計上した結果、49,811千円と前事業年度に比べ70,861千円(58.7%)の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は1,076,899千円で、前事業年度末に比べて168,767千円減少しております。これは、主として売掛金が37,577千円増加したものの、現金及び預金が257,686千円減少したことによります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は3,836,456千円で、前事業年度末に比べて122,043千円増加しております。これは、主として投資その他の資産が55,087千円減少したものの、無形固定資産が126,749千円、有形固定資産が50,380千円増加したことによります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は744,883千円で、前事業年度末に比べて5,767千円増加しております。これは、主として未払法人税等が59,700千円減少したものの、未払金が30,653千円、1年内返済予定の長期借入金が30,000千円増加したことによります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は585,124千円で、前事業年度末に比べて4,700千円減少しております。これは、主として長期借入金が21,829千円増加したものの、リース債務が18,107千円、資産除去債務が7,496千円減少したことによります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は3,583,348千円で、前事業年度末に比べて47,791千円減少しております。これは、主として評価・換算差額等が39,714千円減少したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度に比べ257,686千円(26.7%)減少し、当事業年度末には706,025千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は78,471千円(前事業年度比78.4%減)となりました。

収入の主な内訳は、税引前当期純利益118,847千円、減価償却費93,702千円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額111,026千円、その他の資産の増加額67,991千円、売上債権の増加額37,577千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は306,049千円(前事業年度比576.7%増)となりました。

収入の主な内訳は、定期性預金の払戻による収入60,000千円であり、支出の主な内訳は、事業譲受による支出198,328千円、有形固定資産の取得による支出146,996千円、定期性預金の預入による支出60,000千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は30,109千円(前事業年度比83.1%減)となりました。

収入は、長期借入れによる収入150,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出98,171千円、配当金の支払額57,990千円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年2月期	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
自己資本比率	73.0	72.8	72.5	73.2	72.9
時価ベースの自己資本比率	58.3	65.3	72.0	61.5	48.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.5	0.7	1.6	0.9	4.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	84.9	247.4	158.0	336.1	59.8

(4) 今後の見通し

当クリーニング業界は、需要の減少や人手不足への対応など厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中、当社は、M&Aや新しい看板デザインでの店舗リニューアル、新商品「スニーカークリーニング」サービスのスタートなど、積極的な投資活動を行う一方で、不採算店の閉鎖や工場・プラントの統合を行いました。

これらの取り組みは、将来に向けた需要拡大と利益体質への改善、営業基盤の強化を図るもので、今後も積極的に取り組んでまいります。

次期(2021年2月期)の見通しにつきましては、売上高6,800,000千円(前年同期比2.7%増)、営業利益110,000千円(前年同期比35.7%増)、経常利益200,000千円(前年同期比16.3%増)、当期純利益125,000千円(前年同期比150.9%増)を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症による当社の業績に与える影響につきましては、現時点において合理的に算出することが困難なため業績予想に織り込んでおりません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,018,712	761,025
売掛金	68,879	106,457
商品	24,001	23,632
原材料及び貯蔵品	27,194	29,506
前払費用	77,334	76,677
繰延税金資産	16,516	—
その他	13,027	79,599
流動資産合計	1,245,667	1,076,899
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,780,078	1,823,369
減価償却累計額	△1,301,747	△1,311,361
減損損失累計額	△215,051	△228,685
建物(純額)	263,279	283,322
構築物	44,587	45,205
減価償却累計額	△39,137	△39,491
減損損失累計額	△3,914	△4,496
構築物(純額)	1,535	1,217
機械及び装置	239,418	238,280
減価償却累計額	△217,112	△210,083
減損損失累計額	△15,163	△15,480
機械及び装置(純額)	7,142	12,716
車両運搬具	5,224	5,585
減価償却累計額	△5,224	△5,494
減損損失累計額	△0	△0
車両運搬具(純額)	0	90
工具、器具及び備品	435,110	461,668
減価償却累計額	△397,995	△396,820
減損損失累計額	△19,540	△24,066
工具、器具及び備品(純額)	17,575	40,781
土地	1,792,131	1,801,726
リース資産	80,281	28,537
減価償却累計額	△63,683	△19,749
リース資産(純額)	16,598	8,788
有形固定資産合計	2,098,262	2,148,643
無形固定資産		
のれん	8,954	50,548
顧客関連資産	—	99,750
商標権	436	615
ソフトウェア	770	552
リース資産	33,289	18,858
電話加入権	23,479	23,479
その他	685	561
無形固定資産合計	67,617	194,367

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
投資その他の資産		
投資有価証券	620,488	542,630
出資金	50	50
長期前払費用	8,064	6,267
繰延税金資産	189,239	227,000
差入保証金	525,359	510,986
保険積立金	38,764	39,942
投資不動産	166,566	166,566
その他	8,403	8,403
貸倒引当金	△8,403	△8,403
投資その他の資産合計	1,548,533	1,493,446
固定資産合計	3,714,413	3,836,456
資産合計	4,960,080	4,913,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,073	31,712
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	74,004	104,004
リース債務	23,932	18,107
未払金	342,460	373,113
未払費用	57	57
未払法人税等	70,200	10,500
未払事業所税	11,557	11,393
未払消費税等	43,520	34,632
前受金	4,912	5,835
預り金	5,073	22,236
前受収益	1,973	2,773
賞与引当金	28,193	23,909
資産除去債務	293	5,859
その他	865	748
流動負債合計	739,116	744,883
固定負債		
長期借入金	138,489	160,318
リース債務	29,859	11,751
退職給付引当金	141,544	138,452
役員退職慰労引当金	119,478	123,456
資産除去債務	108,052	100,556
預り保証金	52,400	50,590
固定負債合計	589,824	585,124
負債合計	1,328,941	1,330,008

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金		
資本準備金	395,907	395,907
その他資本剰余金	66	66
資本剰余金合計	395,973	395,973
利益剰余金		
利益準備金	38,216	38,216
その他利益剰余金		
別途積立金	1,520,000	1,520,000
繰越利益剰余金	1,319,190	1,311,128
利益剰余金合計	2,877,407	2,869,344
自己株式	△166,903	△166,918
株主資本合計	3,661,570	3,653,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,430	△70,144
評価・換算差額等合計	△30,430	△70,144
純資産合計	3,631,139	3,583,348
負債純資産合計	4,960,080	4,913,356

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
売上高		
クリーニング売上高	6,521,986	6,452,668
その他の売上高	157,914	165,867
売上高合計	6,679,900	6,618,536
売上原価		
クリーニング売上原価	1,938,768	1,922,447
商品期首たな卸高	23,785	24,001
当期商品仕入高	16,441	17,058
合計	40,226	41,059
商品期末たな卸高	24,001	23,632
商品売上原価	16,225	17,426
売上原価合計	1,954,993	1,939,874
売上総利益	4,724,907	4,678,661
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	127,507	141,827
販売促進費	274,571	261,211
貸倒引当金繰入額	△10	—
貸倒損失	—	441
給料及び手当	664,954	682,025
役員報酬	125,910	138,870
賞与引当金繰入額	18,746	16,401
雑給	769,998	762,860
役員退職慰労引当金繰入額	4,780	5,417
賃借料	434,276	432,321
支払手数料	1,082,693	1,108,262
減価償却費	69,103	73,665
のれん償却額	6,769	6,574
その他	924,180	967,751
販売費及び一般管理費合計	4,503,481	4,597,630
営業利益	221,425	81,031
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	13,002	11,593
受取家賃	47,964	51,017
設備利用料	14,584	14,568
その他	41,677	29,233
営業外収益合計	117,240	106,421
営業外費用		
支払利息	1,102	1,305
賃貸借契約解約損	5,051	13,917
その他	108	233
営業外費用合計	6,262	15,456
経常利益	332,403	171,997

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
特別利益		
固定資産売却益	—	345
特別利益合計	—	345
特別損失		
固定資産売却損	11,109	1,111
固定資産除却損	977	6,012
減損損失	103,373	26,581
投資有価証券評価損	—	19,790
特別損失合計	115,461	53,495
税引前当期純利益	216,942	118,847
法人税、住民税及び事業税	109,410	51,426
法人税等調整額	△13,141	17,608
法人税等合計	96,269	69,035
当期純利益	120,673	49,811

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)			当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)		
		金額(千円)		構成比 (%)	金額(千円)		構成比 (%)
I 材料費							
1 原材料期首棚卸高		6,469			6,995		
2 当期原材料仕入高		236,936			238,248		
計		243,406			245,243		
3 原材料期末棚卸高		6,995	236,410	12.2	8,080	237,162	12.3
II 労務費			958,515	49.4		949,309	49.4
III 外注加工費			86,481	4.5		86,377	4.5
IV 経費	※1		657,360	33.9		649,598	33.8
クリーニング売上原価			1,938,768	100.0		1,922,447	100.0

(注) ※1 主な内訳は次のとおりです。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
賃借料	137,705	135,000
消耗品費	89,395	91,908
燃料費	133,929	133,213
リース料	76,204	69,756
動力費	62,650	62,381
水道光熱費	58,682	55,904

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	555,092	395,907	66	395,973	38,216	1,520,000	1,256,391	2,814,607
当期変動額								
剰余金の配当							△57,874	△57,874
当期純利益							120,673	120,673
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	62,799	62,799
当期末残高	555,092	395,907	66	395,973	38,216	1,520,000	1,319,190	2,877,407

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△166,866	3,598,807	42,971	42,971	3,641,779
当期変動額					
剰余金の配当		△57,874			△57,874
当期純利益		120,673			120,673
自己株式の取得	△36	△36			△36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△73,402	△73,402	△73,402
当期変動額合計	△36	62,762	△73,402	△73,402	△10,639
当期末残高	△166,903	3,661,570	△30,430	△30,430	3,631,139

当事業年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	555,092	395,907	66	395,973	38,216	1,520,000	1,319,190	2,877,407
当期変動額								
剰余金の配当							△57,873	△57,873
当期純利益							49,811	49,811
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△8,062	△8,062
当期末残高	555,092	395,907	66	395,973	38,216	1,520,000	1,311,128	2,869,344

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△166,903	3,661,570	△30,430	△30,430	3,631,139
当期変動額					
剰余金の配当		△57,873			△57,873
当期純利益		49,811			49,811
自己株式の取得	△15	△15			△15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△39,714	△39,714	△39,714
当期変動額合計	△15	△8,077	△39,714	△39,714	△47,791
当期末残高	△166,918	3,653,492	△70,144	△70,144	3,583,348

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	216,942	118,847
減価償却費	97,305	93,702
のれん償却額	6,769	6,574
減損損失	103,373	26,581
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,184	△3,092
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,780	3,977
賞与引当金の増減額(△は減少)	298	△4,284
受取利息及び受取配当金	△13,014	△11,602
支払利息	1,102	1,305
売上債権の増減額(△は増加)	△9,680	△37,577
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,653	△1,943
仕入債務の増減額(△は減少)	3,547	△360
投資有価証券評価損益(△は益)	—	19,790
固定資産売却損益(△は益)	11,109	766
固定資産除却損	977	6,012
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,518	△8,888
その他の資産の増減額(△は増加)	△4,109	△67,991
その他の負債の増減額(△は減少)	3,396	37,390
小計	433,839	179,206
利息及び配当金の受取額	13,014	11,602
利息の支払額	△1,080	△1,311
法人税等の支払額	△82,631	△111,026
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,141	78,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期性預金の預入による支出	△60,000	△60,000
定期性預金の払戻による収入	60,000	60,000
事業譲受による支出	△8,058	△198,328
有形固定資産の取得による支出	△55,751	△146,996
有形固定資産の売却による収入	4,027	4,037
無形固定資産の取得による支出	△920	△321
貸付けによる支出	—	△300
貸付金の回収による収入	100	100
差入保証金の差入による支出	△10,580	△14,786
差入保証金の回収による収入	25,956	50,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,226	△306,049

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△78,946	△98,171
配当金の支払額	△57,761	△57,990
自己株式の取得による支出	△36	△15
リース債務の返済による支出	△41,351	△23,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,095	△30,109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	139,820	△257,686
現金及び現金同等物の期首残高	823,892	963,712
現金及び現金同等物の期末残高	963,712	706,025

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(損益計算書関係)

前事業年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取保険金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当事業年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取保険金」25,567千円、「その他」16,109千円は、「その他」41,677千円として組み替えております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(株式会社新幸)

(1) 企業結合の概要

- ① 相手先企業の名称及び取得した事業の内容
 相手先企業の名称 株式会社新幸
 事業の内容 ホームクリーニング業
- ② 企業結合を行った主な理由
 ホームクリーニング業の更なる拡大と収益向上のため
- ③ 企業結合日
 2019年5月16日
- ④ 企業結合の法的形式
 事業の譲受け

(2) 財務諸表に含まれる取得した事業の業績の期間

2019年5月16日から2020年2月29日まで

(3) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	168,833千円
取得原価		168,833千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 20,000千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- ① 発生したのれん
 のれん金額 27,445千円
- ② 発生原因
 今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したもの
- ③ 償却の方法及び償却期間
 10年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

固定資産 141,388千円

(7) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその主要な種類別の内訳並びに主要な種類別の償却期間

顧客関連資産 105,618千円 15年

(8) 企業結合が当事業年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当事業年度の損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

売上高及び損益情報に与える影響額が軽微であるため記載を省略しております。

(有限会社清洗舎)

(1) 企業結合の概要

- ① 相手先企業の名称及び取得した事業の内容
 相手先企業の名称 有限会社清洗舎
 事業の内容 ホームクリーニング業
- ② 企業結合を行った主な理由
 ホームクリーニング業の更なる拡大と収益向上のため
- ③ 企業結合日
 2019年10月1日
- ④ 企業結合の法的形式
 事業の譲受け

(2) 財務諸表に含まれる取得した事業の業績の期間

2019年10月1日から2020年2月29日まで

(3) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	24,545千円
取得原価		24,545千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- ① 発生したのれん
 17,059千円
- ② 発生原因
 今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したもの
- ③ 償却の方法及び償却期間
 10年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

固定資産 7,486千円

(6) 企業結合が当事業年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当事業年度の損益計算書に及ぼす影響の概

算額及びその算定方法

売上高及び損益情報に与える影響額が軽微であるため記載を省略しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり純資産額	690円16銭	681円08銭
1株当たり当期純利益金額	22円93銭	9円46銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年2月28日)	当事業年度 (2020年2月29日)
貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	3,631,139	3,583,348
普通株式に係る純資産額(千円)	3,631,139	3,583,348
普通株式の発行済株式数(株)	5,551,230	5,551,230
普通株式の自己株式数(株)	289,969	289,999
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	5,261,261	5,261,231

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	当事業年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)
損益計算書上の当期純利益(千円)	120,673	49,811
普通株式に係る当期純利益(千円)	120,673	49,811
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	5,261,286	5,261,239

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

該当事項はありません。